

京都市障害者就労支援推進会議通信

第9号 平成29年7月

事務局：京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室

平成29年度の主な事業と予算

1 障害者職場定着支援等推進センター事業（継続）	22,180千円
（内、企業で働く精神障害者定着支援重点事業（新規））	10,880千円

障害のある方の一般就労における長期的な定着支援を図るため、京都市域における職場定着支援の中核として、26年4月、「京都市障害者職場定着支援等推進センター」（北山ふれあいセンター内）を設置しました。

また、平成30年度から法定雇用率の算定基礎の対象に、新たに精神障害者が追加されることから、今後、精神障害のある方の就労・定着支援のニーズが飛躍的に増加していくことが見込まれています。この状況に対応するため、29年4月、本センターの南部分室（京都テルサ内）を新たに設置するとともに、両センターに、主に精神障害者対応の専門職員を1名ずつ配置し、精神障害のある方の職場定着支援に重点的に対応を開始しました。（新規事業）

両センターでは、障害者就業・生活支援センターと緊密な連携を図りながら、企業訪問等による情報把握や仲間づくり支援（交流サロン「ぼろぼろ」）などを行うことにより、離職防止・離職時の再就職支援体制を整備し、障害のある方の長期就労をサポートしています。



交流サロン「ぼろぼろ」の様子

2 障害者就労支援プロモート事業（継続）	11,030千円
-----------------------------	-----------------

障害保健福祉推進室に「障害者就労支援プロモーター」を2名配置し、京都市障害者就労支援推進会議及び部会を開催するほか、「障害者の働く力」の向上や「障害福祉事業所の障害者を支える力」の向上、「企業の雇用する力」の向上を支援します。

障害のある方や就労支援者を対象とした「スキルアップ研修」をはじめとして、他事業との連携を図りながら、障害のある方の「働く力」や「支える力」の向上を支援するとともに、企業（人事担当者等）を対象とした企業見学会やセミナーなども実施します。



スキルアップ研修（支援者向け）の様子
[平成28年5月11日]

【参考】京都市障害福祉計画における「福祉施設から一般就労への移行」

年 度	平成28年度	平成29年度
目標値	150人	163人
実績値	162人	—

3 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業 (継続) 3, 169千円

就労支援機関と連携し、障害のある方で、一般就労を希望する方を対象に、京都市役所の職場において、職場実習やチャレンジ雇用（臨時的任用職員としての雇用）を実施することにより、そこで得られる経験を通じて、将来の企業就職に向けたステップアップとしていただくとともに、広く企業や市民の皆様に障害者就労に関する啓発及び理解の促進を図っています。

なお、実習及び雇用の期間中は、実習コーディネーター（ジョブコーチ等）によるサポート体制を整備し、実習の進め方、業務の切り出しや実習評価などを行い、事業効果の向上を図っています。

【職場実習】

約2週間、障害のある方を京都市役所の職場に受け入れ、就労を体験していただきます。

○今年度予定 実習生：23名、職場：23職場（区役所、保育所、図書館など）

【チャレンジ雇用】

職場実習生から数名を選考し、約2箇月間の京都市の臨時的任用職員として採用し、更なる実戦経験を積んでいただくことで、一般就労のための具体的なステップアップとする機会を提供しています。

○今年度予定 実習生：2名、職場：(未定)

4 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業 (継続) 5, 500千円

障害者雇用に意欲があり、具体的に雇用を進めるに当たり、職域開発や特例子会社設立等のノウハウを必要としている企業等に対して、障害者雇用促進アドバイザーの派遣や、障害のある方を雇用する際に必要な備品購入に要する費用の補助を行うことにより、障害のある方の職域を拡大し、自立と社会参加の推進を図ります。

また、障害者雇用の必要性あるいは意欲はあるものの、具体的な雇用計画の検討に至らない企業等を「障害者雇用促進のための連続研究会実践セミナー」でサポートし、障害者理解の促進や実際の雇用拡大につなげます。

5 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業 (継続) 16, 239千円

障害福祉事業所で作られたものに限定せず、障害のある方が広く関わってできた製品を「ほっとはあと」の仲間＝「はあと・フレンズ」としてブランド化し、企業連携、事業所連携、市民協働の視点を取り入れた製品開発、生産、販売の新しいモデル事業づくりを行うことにより、モノづくりに励む障害のある方の多様な生き方を支援するものです。取組を通じて、障害のある方の自立と社会参加を促進するとともに、企業や市民に対する障害者福祉への理解促進や将来の雇用機会の創出を図ります。

はあと・フレンズ・ストア



四条河原町の花遊小路商店街内に店舗を移転して2年目となります。

【商品の一例】



動物クッキー



ネコプレート

平成28年度 京都市の障害者就労支援の主な取組状況

1 障害者就労支援プロモート事業

(1) 京都市障害者就労支援推進会議の開催

開催日 28.6.27	報告事項	京都市障害者就労支援推進会議 部会等の取組状況について 京都市障害福祉計画における福祉施設から一般就労への移行について 平成27年度京都市障害者就労支援推進事業について
	協議事項	精神障害のある方の就労について

【部会】

障害者就労支援の連携のあり方検討部会	障害のある方の職域拡大に向けた支援	1回開催
精神障害者就労支援システム検討部会	精神障害者就労支援システムの検討	4回開催
「福祉から雇用へ」事業所連絡部会	就労移行に係る課題検討	1回開催
発達障害者支援連携協議会・就労支援連絡部会	発達障害者の就労支援について	2回開催
巢立ちのネットワーク	総合支援学校 PTA 職場開拓の取組等	4回開催
	第23回雇用フォーラムの開催※	28.11.9
デュアルシステム推進ネットワーク会議	長期企業実習や職業教育のあり方を検討	2回開催
障害者職域開発推進部会	アドバイザー派遣等支援事業のヒアリング等	1回開催
はあと・フレンズ・プロジェクト推進部会	事業の進捗状況及び計画等	1回開催

(2) 障害者就労支援スキルアップ研修の実施

障害のある方や就労支援担当者等が一般就労への移行のために必要な知識・スキルを習得する研修会を開催しました。(全16回、延べ440名参加)

(3) 企業見学会・セミナーの実施

企業の人事担当者等向け企業見学会・セミナー(障害者雇用の好事例等)を開催しました。見学会やセミナーでは、京都市の伝統工芸分野での職域開拓にも取り組みました。(全9回、延べ337名参加)



伝統工芸見学会の様子
[平成29年3月15日]

2 障害者職場実習・チャレンジ雇用推進事業

(1) 職場実習の実施状況

身体障害(1名)、知的障害(14名)、精神障害(8名)のある方23名が市役所(区役所、保育所、図書館等)の職場で、それぞれ約2週間の職場実習を行いました。

(2) 職場チャレンジ雇用の実施状況

上記の職場実習を受けた方の中から3名を京都市の臨時的任用職員として採用しました。

実施職場：障害保健福祉推進室(3名)

3 障害者雇用促進アドバイザー派遣等支援事業

「障害者職域開発推進部会」の有識者等からの意見を踏まえ、以下の事業者を補助事業者に指定し、障害者雇用拡大の取組を支援しました。

事業者名	事業実績概要
(株) バイカル	洋菓子の型抜き、製菓補助、菓子の箱詰め（本事業による雇用拡大2名〔29.3末時点〕）
(有) 山田木工所	3D木工加工機械のオペレータ及び研磨加工等（本事業による雇用拡大1名〔29.3末時点〕）
(有) 中村ローソク	京都の伝統産業「和ろうそく」の絵付け（本事業による雇用拡大1名〔29.3末時点〕）

4 はあと・フレンズ・プロジェクト推進事業

（1）アンテナショップ「はあと・フレンズ・ストア」の設置・運営

〔営業時間〕 11:00～19:30 〔定休日〕 毎週水曜日、年末年始
 〔所在地〕 京都市中京区新京極通四条上ル中之町 565-15
 〔TEL〕 075-221-8033 〔FAX〕 075-221-8118
 〔HP〕 <http://kyoto-heartfriends.com/>
 〔Email〕 heart-friends@cap.ocn.ne.jp
 〔twitter〕 https://twitter.com/heart_friends
 〔売上等〕 取扱：85事業所（H29.3）996アイテム 売上：約1,023万円

〔アクセス〕



（2）各種イベントの実施、連携

- ダブディビ・デザイン×はあと・フレンズ 共催セミナー〔共催〕…「障害者アートの魅力を伝える商品開発」
- 第8回ほっとはあと EXPO in Kyoto 〔連携〕
- 第20回笑顔いっぱい元気いっぱい保育フェスタ 〔出展〕 など

（3）事業モデルの構築

新しい事業モデル（例）

【民間企業との連携による商品開発】

オリジナル風呂敷（株式会社ダブディビ・デザイン×はあと・フレンズ・ストア×丸和商業株式会社）を共同開発。応募いただいた約70点から、厳正なる審査のもと原画3点が商品化となりました。



<オリジナル風呂敷>

（4）はあと・フレンズ・ギフトカード

【京都市による障害者就労施設等からの調達推進】

はあと・フレンズ・ストアが発行する「はあと・フレンズ・ギフトカード」を京都市が購入し、イベント記念品や謝礼として市民に広く配布する取組。

京都市によるほっとはあと製品の調達促進とともに、市民に対し広くほっとはあと製品や障害福祉事業所の取組を普及啓発することを目的としています。



<ギフトカード>

<ご利用の手引>



京都市障害者就労支援推進会議通信 第9号 平成29年7月発行

事務局：京都市保健福祉局 障害保健福祉推進室

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940 URL <http://www.hatarakimahyo.jp/>

京都市印刷物第294333号